

駅前の空き店舗に高齢者を対象としたコミュニティ施設を開設  
さまざまなイベントを開催して高齢者の交流促進に寄与

## NPO法人戸出コミュニティ開発

機関名	NPO法人戸出コミュニティ開発		
所在地	富山県高岡市戸出町2-8-10		
電話番号	0766-63-0889		
地域概要	(1)管内人口 14千人	(2)管内商店街数 5商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 5商店街	(2)会員数 100商店	
	(3)空店舗率 5%	(4)大型店空き店舗数 0店	
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成15年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業（高齢者等交流施設）

・高齢者対象のコミュニティ施設の  
設置・運営

総事業費

5,216千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

高岡市は、富山県西部に位置する中核都市であり、アルミ・化学・パルプ工業や銅器・漆器などの伝統産業等を基幹産業として栄えてきた。

戸出地域は、高岡市の南部に位置し、砺波平野の北部にあって東に立山連峰を望む自然環境に恵まれた地域である。また、鉄道やバスなどの公共交通網が整い、富山市街や高岡市街、石川県方面などへの道路が整備されるなど、大変便利な地域でもある。

しかし、近年の域内商業の状況は、国道沿いにある商業施設が比較的活況を呈している一方、市街地にある商店街では、店主の高齢化に伴う空き店舗の増加といった現象が見られ、衰退が進んでいる。

このような状況を受けて市街地では、高齢化社会の更なる進展を考慮に入れ、福祉に重点をおいたサービスを模索するとともに、高岡法科大学の学生や地域住民、店主らが交流できる街づくりを行っていくこととした。その一環として本事業では、高齢者が楽しみ、憩うことができるコミュニティ施設の整備・運営を行った。



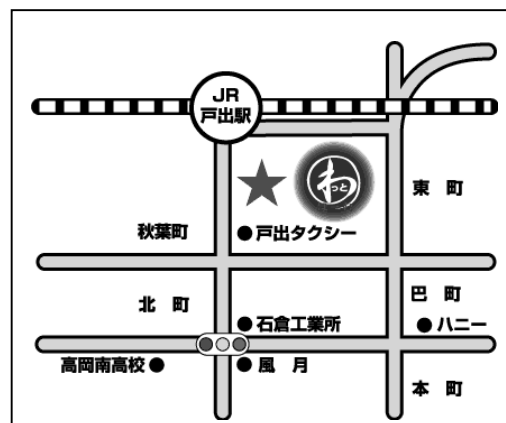
高岡市の位置（高岡商工会議所 HP）

## 2. 事業内容

今後の高齢化進展に対応して、様々な人が交流する拠点を設置することで街の賑わいを創出することを目的として、JR戸出駅前の旧コンビニエンスストアの空き店舗を活用、高齢者を対象としたコミュニティ施設を開設・運営した。

### (1) 施設概要

- ・施設名 交流施設「わっとほーむ」
- ・所在地 高岡市戸出町 3-8-10  
(JR城端線戸出駅前)
- ・面積 約 90 m<sup>2</sup> (1階建て)
- ・付帯設備 バリアフリースイレ、上がり座敷 (9畳)、調理場 2カ所
- ・開館日 平成15年9月15日  
(祝・敬老の日)
- ・開設時間 午前9時～午後9時



「わっとほーむ」の位置

「わっとほーむ」という名称は、戸出の人の「輪」を大切にし、「アットホーム」な場所作りの提供を行うこと、および、「和」（昔ながらの伝統を後世に伝える空間）、「話」（戸出のいろいろな情報の発信基地）という意味を込めた造語である。

バリアフリースイレを設置して車椅子が中で回転できるように面積を広くとった点、また、調理場を2カ所設けた点などが施設の特徴となっている。

### (2) イベント

「わっとほーむ」では、さまざまなイベントを開催して集客の増加を促し、街の活性化を図った。

#### ① オープニングセレモニー

- ・開催日 平成15年9月15日 10時30分～
  - ・内容 テープカット、地元中学校吹奏楽部による演奏、大正琴の演奏、創作菓子の提供、戸出特産漬物の披露、高岡法科大学学生会長のミニ講演等
- 当日は、地域住民の参加者が55名にのぼり、盛況であった。

#### ② 各種講座の開講

施設のオープンから平成16年2月末日までの間に手芸講座(11回)、料理講座(1回)、パソコン教室(3回)等を開講した。

#### ③ 会食

高齢者らが芝居や手品、かるたなどを楽しんだ後で食事を取りながらおしゃべりができる会費制の会食サービス事業を行った。

④ 「みつわ市」

12月6日(土)、7日(日)の午前10時から午後3時に実施。農協とタイアップして、大根やサトイモなどの地場の新鮮な野菜、花、自家製漬物、かぶら寿しなどの特産品を販売した。また、当日は障がい者グループによる喫茶コーナーも開設された。



「わっとほーむ」のチラシ

(3) 利用実績

平成15年9月15日から平成16年2月29日までの約5ヶ月半の延べ利用者数は、1,668名であった。

年月	開設日数	利用者数	1日の平均利用者数
平成15年 9月	14日	140名	10名
10月	26日	272名	10名
11月	24日	356名	15名
12月	26日	459名	18名
平成16年 1月	23日	174名	8名
2月	24日	267名	11名

## 【 効 果 】

### 1. 来街者の行動

「わっとほ一む」で定期的に会食事業を開催していることで高齢者同士の輪が広がり、イベント開催の際などに高齢者がお互いに声を掛け合って参加するといった姿が見られ、大勢の参加者で賑わった。

### 2. 若者の消費行動の理解

高岡法科大学の学生と交流するきっかけができたことで若者の消費行動について知ることができ、結果として商店街関係者との間に大きなギャップがあることを認識できた。

## 【 課 題 ・ 反 省 点 】

### 1. 駐車場の確保

商店街内に駐車場がないことがイベント開催などの際に最大の問題となった。車社会に対応できていない街に多くの車が入って来て混乱を招いた。駐車場の確保が大きな課題と認識しているものの、解決を図ることは難しい。

### 2. 事業実施のノウハウ

他の催事に合わせて「わっとほ一む」の催事を行ったためか、コミュニティ施設そのもののインパクトが弱かったように感じる。

### 3. 人的体制

事業に対する知識をもった人材の確保が課題である。

## 【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

1. 駐車場の確保を図るほか、シャトルバスを運行するなど「わっとほ一む」に行く道中を楽しめる方法を考えて提供することが大切であると痛感した。
2. 物販を行う際はある程度商品知識のある人を配置して必ず対面販売を行う。“やさしさを売る”という姿勢で大型店との違いを打ち出す必要がある。

## 【 関 連 U R L 】

NPO 法人戸出コミュニティ開発  
戸出商工会

<http://www.npo-toidecd.com/home.html>

<http://www.shokoren-toyama.or.jp/~toide/>